

教育委員会の実施する取組

教育委員会は、いじめの防止等の対策を推進するため、関係機関とともに、いじめの防止等の施策を主体的に展開し、学校と一体となって取り組んでいく。

1 いじめの未然予防

(1) 人権教育、道徳教育の充実

① 生命の尊さ講座

中学生が、お互いの生命の尊さを再認識できるよう「性と生を考える」をテーマに講座を実施し、男女が互いに尊び、健全な学校生活が送れるよう、正しい理解と判断力を養う。
(中学校 12校 対象学年 学校裁量)

② 赤ちゃん学校訪問

赤ちゃんや子育て中の母親と触れ合うことを通して、机上の学習だけでは伝わらない「命のあたたかさ」を体験する。また、命の尊さ、生きる事の大切さ、自分を産み今の自分を育ててくれた親、家族への感謝の気持ちを培うきっかけとすることを目的とする。
(中学校 12校 対象学年 3年生)

③ CAP

児童が自ら考え、意見を述べ、ロールプレイに加わり、いじめ、誘拐、虐待、性暴力といった様々な暴力から自分たちを守るための教育プログラムを実施する。
(小学校 24校 対象学年 3年生または4年生)

④ 自殺予防プログラム

「早期の問題意識 (心の教育)」「援助希求的態度の育成」を目標にした自殺予防教育を行う。自殺予防プログラムを通して、長い人生において問題を抱えたり、危機に陥ったりしたとき、問題を一人で背負い込まずに乗り越える力を培うことと、自分自身や友達の危機に気づき、対処をしたり関わったりし、信頼できる大人につながることの重要性を理解する。
(中学校 12校 対象学年 学校裁量)

(2) 体験活動の推進

① 環境体験事業

② 自然学校推進事業

③ トライやる・ウィーク

(3) 言語活動、自己表現力向上の推進

① 自己表現力向上事業

平田オリザ氏による演劇的手法を活用したワークショップを実施し、自己の内

面を表現することを通して、これからの時代を生きる児童生徒にとって必要な基礎能力であるコミュニケーション能力を培うとともに、自己表現力の向上を図る。

(小学校 9 校 対象学年 5 年生または 6 年生)

2 いじめの早期発見

(1) 学校における調査等の支援

- ① ことろとからだのアンケート」「いじめ調査アンケート」の結果を各校が活用し、組織的対応ができるように学校支援を行う。
- ② いじめアンケートの改善
アンケート内容、時期、集約、報告
- ③ 問題行動報告の改善

(2) 学校における相談体制の整備

- ① 担任等による相談できる関係の構築 相談週間
- ② スクールカウンセラーの配置 (中学校 12 校 小学校 6 校)
- ③ 教育支援課を中心とした学校訪問

(3) いじめに関する通報及び相談を受けるための相談窓口の充実

- ① いじめ相談 0797-77-2028 月～金 9:00～17:30 学校教育課
青少年何でも相談ダイヤル(子ども専用) 0797-84-0937
月～金 9:00～19:00 教育支援課
子どもの権利サポート委員会 0120-931-170
月～金 13:00～19:00 土 10:00～17:00
第1・3火曜日 10:00～17:00 子ども政策課

3 いじめへの対処

(1) 学校におけるいじめ防止等の取組の点検・充実

- ① 学校いじめ防止委員会のあり方の検討(定例化、認知例の周知)
- ② いじめの認知件数、継続件数、解消件数の把握のための情報交換、情報共有。
- ③ 組織的対応のための指導、助言

(2) 外部人材の活用による問題解決への支援

- ① いじめを受けた児童生徒の生命及び心身を守ることを最優先にした人材派遣
指導主事 SSW SC 学校支援チーム
今年度より、SSW を学校教育課が所管する

- 4 インターネットや携帯電話・スマートフォンを利用したネットいじめへの対応
 - ① 未然防止、早期解決のため、関係機関と連携して対応することができるよう体制を整備する。
 - ② ネットいじめ防止にむけた取組
発達段階に応じて計画的に情報モラル等に関する教育を推進する。

- 5 教職員の研修

教職員に対して、現職研修・初任者研修・生徒指導担当教員等研修・管理職研修などのいじめ防止等に関する研修を計画的に実施し、法令の理解や危機管理意識の向上により、いじめに対する対応能力を高める。

 - 学校教育課による研修
 - 自殺予防プログラム
 - いじめ防止に関する事例研修
 - CAP 研修
 - 児童生徒理解研修
 - カウンセリングマインド研修 など

- 6 児童生徒の主体的活動の推進
 - ① 生徒会サミット
 - ② 生徒会によるスマホ使用ルールの作成
 - ③ 平和集会での発表

- 7 連携強化
 - ① 学校と家庭、地域の連携
 - ② 関係機関との連携
 - ③ 学校間の連携

1 いじめの認知件数(平成25年度～平成29年度)

	小学校(24校)		中学校(12校)		特別支援学校(1校)		市内合計	
	認知学校数	認知件数	認知学校数	認知件数	認知学校数	認知件数	認知学校数	認知件数
平成25年度	6校	10件	6校	13件	0校	0件	12校	23件
平成26年度	6校	12件	4校	4件	0校	0件	10校	16件
平成27年度	12校	25件	11校	24件	0校	0件	23校	49件
平成28年度	15校	46件	12校	39件	0校	0件	27校	85件
平成29年度	15校	58件	12校	38件	0校	0件	27校	96件

2 体罰の発生学校数・件数(平成25年度～平成29年度)

	小学校(24校)		中学校(12校)		特別支援学校(1校)		市内合計	
	発生学校数	発生件数	発生学校数	発生件数	発生学校数	発生件数	発生学校数	発生件数
平成25年度	2校	3件	3校	4件	0校	0件	5校	7件
平成26年度	3校	6件	3校	3件	0校	0件	6校	9件
平成27年度	0校	0件	4校	5件	0校	0件	4校	5件
平成28年度	0校	0件	0校	0件	0校	0件	0校	0件
平成29年度	0校	0件	2校	2件	0校	0件	2校	2件

3 不登校の状況(平成25年度～平成29年度)

	小学校(24校)		中学校(12校)		特別支援学校(1校)		市内合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
平成25年度	12校	32人	11校	189人	0校	0人	23校	221人
平成26年度	11校	22人	11校	162人	0校	0人	22校	184人
平成27年度	13校	42人	10校	168人	0校	0人	23校	210人
平成28年度	14校	36人	12校	178人	0校	0人	26校	214人
平成29年度	17校	50人	12校	208人	0校	0人	29校	258人